

いじめの問題に対する取組事例 報告書

文科省からの調査があり、以下、906～909号の通り回答しました。

取組の概要	【いじめ対策の基本方針】 スローガン『守ろう！子どもの未来！！』を掲げ、〔個への支援と集団づくり〕を基調として、未然防止・早期発見に取り組む。とりわけ、特別支援の視点から、一人一人の児童理解に基づいた集団づくりに重点を置き、個の内面と集団の状態や学力について客観的に把握する。その上で、すべての教職員・関係者が共通理解し、共通の認識の下、組織全体で共通実践することを肝とする。 【いじめ対策の柱】 ア 学校組織力 学校いじめ防止基本方針の策定、学校いじめ対策委員会及びいじめに関する連絡協議会の設置・実施、いじめに関する教員研修の充実、外部の専門家との連携強化 イ 児童の内面 楽しい学校生活を送るためのアンケート「Q—U」、スクールカウンセラーによる全員面接（4～6年生）、校長室での会食、心と体の授業（5～6年生）の実施 ウ 児童の学力 各学力調査の他、東京都教育委員会「東京ベーシック・ドリル診断シート」により一人一人の学力を把握し、放課後（毎週）の個別指導「三小寺小屋」等で学力を保障 エ 人権意識 人権課題について学年・学級で継続的に取り組み、児童による人権集会（年2回）を開催し「人権標語」「人権作文」「三小しぐさ」などを児童自らが発表 オ 地域連携 保護者・地域を含めて大人全体で子どもを見守る環境づくりのために「地区班」を組織、地区班遊び（毎月）や地区班による防災訓練（年2回）を実施 カ 校長の責務 全教職員から全児童の状況を把握し、指導状況を掌握するなど、直接の責任を負う
効果・成果	【いじめ・不登校】 平成26年度1学期末現在、いじめ、不登校ともに0件 【個の支援と集団づくり】 ア 学校組織力 外部の専門家の協力（指導・助言）を得ることにより、すべての教職員が共通の認識の下、チームとして組織的に児童の指導にあたるようになってきた。 イ 児童の内面 一人一人の児童、学級の状態を「共通のものさし」で客観的に把握し、組織全体で共通理解できるようになった。児童が自分の気持ちを表現することの意識が楽になってきた。 ウ 児童の学力 低学力を要因とする自己肯定感の低さが目立っていた児童らが、「やればできる・楽しい」という意識が高まり、嬉々として放課後の補習に参加し、学力を定着させている。 エ 人権意識 低学年から段階的に学びながら、児童自らが「人権って何だろう」と、身近な人権を意識するようになり、自他を大切にする気持ちが育ってきている。 オ 地域連携 学校、家庭、地域、それぞれの居場所で、一人一人の児童がかけがえない存在として大切にされているという意識が、児童の有用感、自尊心を高めてきている。

取組として該当するものに○をつけてください（複数回答可）。

- ☒ (ア) 未然防止のための取組
 ☒ (イ) 早期発見・早期対応の在り方
 ☒ (ウ) 教育相談体制の充実
☒ (エ) 生徒指導体制
 ☒ (オ) 校内研修
 ☒ (カ) PDCA サイクル
 ☒ (キ) 児童生徒主体の取組
☒ (ク) ネットいじめ対策
 ☒ (ケ) 保護者・地域社会の取組強化
 ☐ (コ) その他 ()

道標 (みちしるべ) 第907号

いじめの問題に対する取組内容

平成26年7月2日
校長 稲垣 達也

子どもの心に寄り添う

〈昨年度から継続〉



SCと心の授業 平成25年 6月～



SCと全員面接 平成25年 7月～



SCと会食 平成26年 2月～

外部の専門家との連携強化

スクールカウンセラー (SC)
高度な臨床心理学／精神医学的
専門知識を有する心理の専門家

- ◆ Q-Uアンケート 全校児童
- ◆ 心と体の授業 5～6年生
- ◆ 全員面接 4～6年生
- ◆ 校長室で会食 全校児童

- ◆ 個別の対応、指導・助言
- ◆ 保護者対象の講演会
- ◆ 教員対象の研修会
- ◆ 校内研究授業の講師

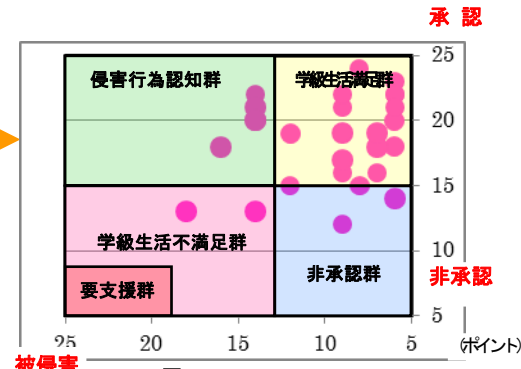
スクールソーシャルワーカー (SSW)
社会福祉士や精神保健福祉士な
どの資格を有する福祉の専門家

特別支援教育コーディネーター
関係機関との連携、外部との相
談などを担う専門性の高い教員

個と集団を客観的に分析する

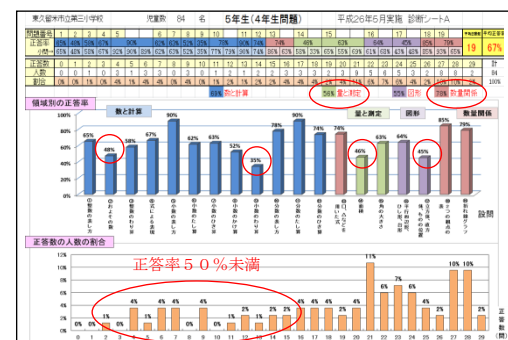
〈昨年度試行〉

【居心地の良いクラスを作るため



＋ 〈今年度から新規〉

【東京ベーシック・ドリル診断



学力向上と学級集団づくり



放課後塾『三小寺子屋』

人権教育の推進



人権集会『人権標語』 平成25年 6月



人権集会『三小いぐさ』 平成26年 7月

校長・副校長

外部人材

学校の組織力の向上

主幹・主任教諭

保護者・地域

学校いじめ対策委員会 (運営会議)

いじめ問題連絡協議会 (全体会)



校長と教員の全員面接 平成26年 8月



保護者・地域と連携した『地区班活動』

子どもは未来の守護者